

高萩地区第4回学校運営協議会会議録

日時	令和8年1月21日(水) 14:30～
場所	高萩小学校 研修室
出席者	石田 則雄(会長)・塩川 忠(副会長)・小坂井 啓二(教育指導幹)・ 市川 徹(高萩公民館 館長)・宮崎 千恵子・谷本 和歌子・ 北野 哲・岡野 一平・田中 和香子・井上 雄太 長嶋 伸一(高萩中校長)・高内 康裕(高萩中教頭)・佐藤 澄太(高萩中教務主任)・ 原 政幸(高萩小校長)・梁取 智章(高萩小教頭)・柴田 充(高萩小教務主任)
欠席者	1名
傍聴者	なし
協議事項及び決定事項	<p>1 開会のことば(副会長)</p> <p>2 あいさつ</p> <p>日高市教育委員会 指導幹より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会が北小と重なっているので中座します。 西部地区学校協働活動の発表がありました。400人以上が参加。(オンライン) 活動を統括する地域学校協働本部が設置しているところが少ない。(他の地区を見ると) 様々な地域活動をコーディネートする機関が必要。 小中一貫教育を進めていくため。 今後の課題：特に部活動の地域展開 働き方改革との両立も含めて。 <p>高萩地区学校運営協議会 会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(学校評価) 昨年度は事前に配付だったか、今年度は本日配付なのでしっかり見て協議していく。発表について：まだまだ「学校応援団」という用語が多かった。 <p>3 協議</p> <p>(1) 学校評価について</p> <p>○小学校</p> <p>(結果)</p> <p>学校自己評価システムシートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりの心を育む」保護者項目が若干上がった。職員と保護者の数値に差があるのが気になるところ。 ・「外遊び、体育授業」最も評価が高かった。様々な取組が効果を上げている。 ・「わかりやすい授業」授業改善に取り組んできた。反面、日々の授業の様子は保護者に伝わりにくい。 ・家庭学習に関する保護者の考え方も様々。児童が自分で学ぶ姿勢を育むことが重要。 ・HPでの情報提供が少なかった。 ・リーバー配信について。必要感のある情報を配信していく。紙での配付の是非。 ・値域の方の協力が大きい。 ・小中連携の取組。委員会活動について。 ・地域人材の活用をどのように充実させていくか。 ・安心安全な学校：見守り隊の方々の取組の成果が大きい。 <p>参考資料：保護者アンケートの内容 「わからない」と答えている保護者が一定数いること。</p>

教職員アンケート結果について。

(質疑応答)

- ・たてわり遊びの頻度は？ 月一回。集合場所について。中学校の校庭も使用しています
- ・教職員と保護者のアンケートで一番差があった、わからないが多いのは、「思いやりの心を育てている」：判断しづらいのではないかと。内容（見せ方）例示をするなど・・・
普段学校からのお便りなどを見ない人にも判断しやすい質問項目にすることも必要。
- ・わかる授業：差が大きい（教員は、厳しく自己評価している）
→自己肯定感が低いのでは？（昨年度は0%）アンケートの取り方工夫必要。
- ・地域学校協働活動が保護者に十分伝わっていない。
- ・小中合同の委員会活動：大変ではないかと。：できるところからやっていく。来年度は曜日をそろえていきます。
- ・いじめの早期発見・対応：教職員と保護者のギャップがある。（大きく出るところ）
教職員は対応しているが、保護者には伝わっていない・・・保護者が一番不安になりやすい項目。

登下校時の事故：昨年に引き続きゼロ

○中学校

- ・学校自己評価システムシート（黄色の部分は課題）
- ・保護者アンケート：記名式にしている。
- ・教職員の言葉遣いについて指摘する声もあった。：指導、研修していく
- ・中学生になるとより生徒から保護者へ伝わる情報量が少なくなる。
- ・9年間を見通した人間関係づくり（ボランティア活動・小中の委員会活動）
- ・働き方改革
- ・あらゆる場面で生徒が主体的に活動を進めていく。
- ・めあてとまとめ：受験を見据えた授業で情報量が多くそこまで行けないときも。
- ・家庭学習：教職員と保護者の意識差
やりたいと考えるものを提示できれば。（家庭学習の手引き）
- ・小学校へのボランティア参加 吹奏楽部など
- ・リーバー配信 紙でも配ってほしい家庭も一定数。
- ・小中一貫の意識が低い まずは生徒が意識できる取組を。
- ・時程を小中で合わせる予定で進めている。
- ・行事の見直し。：子どもたちが取り組みやすいように改善。
- ・公立高校の受験：面接とエントリーシートが全員必須となった。
- ・相談しやすい体制の構築。
- ・緊急事態のブザーがうまく機能するようになった。
- ・やりとり帳：今年度でやめる。（負担軽減）

(質疑応答)

- ・生徒への対応について重く受け止める必要がある。：すでに該当の教員には指導、保護者に説明、謝罪をしている。今後も指導、研修を継続していく。
- ・宿題、家庭学習について
強制はやめ、自主的な提出としたが、増やしてほしいという保護者からの意見もある。
塾に通っている生徒はよいが、学習が苦手な子は何もやらなくなってしまうのでは・・・
- ・ロードレース大会がなくなったが・・・：授業の中で実施する形としている
- ・受験：エントリーシート 保護者の協力を仰ぐのもよい

<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの対応について、しっかりやっていく必要がある。 ・3年生の英検受験：予算を市が出してもらえる。 留学疑似体験ツアーも合わせて。 <p>(2) 地域学校協働本部の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月28日に締めをしたい。(今年度の活動について) ・環境整備部の募集について、回覧したが未だ1人も集まっていない。 ・公民館だよりに募集の内容を載せてもらいたい。 ・部活動指導者についても呼び掛けていく。 <p>(3) その他</p> <p>4 確認・説明</p> <p>(1) 小学校より</p> <p>2学期インフルエンザが流行したが、現在は落ち着いている。 長縄大会を実施している。各クラス協力して取り組んでいる。 清書会について。全体として落ち着いている様子。 地域の方々の見守りのお陰で子どもたちは元気に過ごしています。 感謝のつどい：2月13日(金)</p> <p>(2) 中学校より</p> <p>アンケート結果について。 保護者からの厳しいご意見について。しっかりと向き合い対応をしていきます。 受験についてシーズンを迎えている</p> <p>(3) その他</p> <p>○年▽組 ◇◇教諭 12月に無事出産。 1月8日より代替教員の方がスタート。 XX教諭：病休から職場復帰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R9 修学旅行：京都・奈良方面から石川県金沢市に変更。 ・観光地の混雑・宿泊施設の確保の困難さ・物価高騰等で大変厳しい ・関東修学旅行委員会に加盟することにした。(旅費の補助・予約をしてくれる・列車を確保) ・時間外在校等時間：9か月間の月平均10.5時間軽減できた。 ・日高市の部活動地域展開は令和10年度を予定。 ・下校時刻を変える。18時から17:30に。 <p>5 連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回協議会 3月10日(火)会場：高萩中学校 <p>6 閉会の言葉 (副会長)</p> <p>事前に学校評価シートは事前に頂きたいと思います。 第4回の日程を遅らせるか、アンケート集計日程を工夫するなど。</p>
--